

横浜子どもスポーツ基金「第61回横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同体育祭」報告

日 時	令和4年10月12(水)、13日(木)
場 所	三ツ沢陸上競技場 メイントラック
参加者	横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級 生徒:約2300名、担任:500名、スタッフ約30名、保護者 約2000名
実施内容	中学校の個別支援学級の生徒たちが、50m走、100m走、400m走、ボール投げ、走り幅跳び、リレー(男子・女子・混合)の各競技に個人または学校単位で参加し、日ごろの練習成果を試す良い機会となりました。 両日を通じて記録が上位の生徒・学校には、後日、賞状やトロフィーを授与しました。
全体所感	両日も曇り～小雨の中での活動となりましたが、予定どおりプログラムを実施しました。開閉会式では生徒が司会進行を分担し、また各競技に参加した生徒は、自分の持てる力を十分発揮し、大いに盛り上がりました。 2019年以来3年ぶりの開催となり、運営体制や進行方法も新型コロナウイルスの感染対策をとり、以前とは異なるかたちで臨みましたが、「横浜子どもスポーツ基金」の支援により、運営ボランティアの協力や用具の充実が図られ、大きな混乱や事故もなく予定どおりに競技を終了することができました。
	   

主催:横浜市教育委員会 横浜市立中学校校長会 主管:横浜市中学校特別支援教育研究会